



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和4年第32週（8/8～8/14）【概要版】

令和4(2022)年8月19日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- 腸管出血性大腸菌感染症は、8月10日に令和4年度3回目の「腸管出血性大腸菌感染症多発警報」が発令されました。調理前の手洗いとともに、食品の取り扱いにはご注意ください。
- 手足口病は、「例年より多く」報告されており、特に東近江保健所管内では3週連続で警報基準を超過しています。
- RSウイルスは、1週前より報告数の減少が見られますが、「例年より非常に多く」報告されています。秋から冬に流行するとされていましたが、昨年と同様に、夏にかけて流行が見られています。
- 梅毒は、「例年より非常に多く」報告され、過去最多ペースで増加しています。約8割が20～40歳代で、男性が多い傾向にあります。主に性的な接触により感染する感染症です。予防にはコンドームが有用ですが、完全に予防できない可能性があります。皮膚や粘膜の異常など気になる症状があった場合は、性的な接触を控え、早めに医療機関を受診してください。

2. 報告数が多かった小児科定点把握疾患（五類感染症）ⁱ

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県			保健所別 (iv)									
	2週前	1週前	今週	警報注意報 (ii)	例年より多い (iii)	例年より非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
手足口病	2.92	3.22	3.25		○		↑	多	多	警	↑		
RSウイルス感染症	2.64	2.72	2.14		○	○	↑	多		多		多	↑
感染性胃腸炎	3.11	1.81	1.72				多	多			多	多	↑
ヘルパンギーナ	0.58	0.72	0.83					多	↑		↑	多	
突発性発しん	0.19	0.25	0.25				多			多	↑		

(2) 前週の全国、滋賀県および近隣府県の状況（下線：滋賀県よりも多い）

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
手足口病	<u>3.32</u>	3.22	0.66	0.99	<u>3.26</u>	1.17	1.35
RSウイルス感染症	<u>2.32</u>	2.72	<u>5.97</u>	<u>4.36</u>	1.30	<u>4.00</u>	<u>8.74</u>
感染性胃腸炎	<u>2.38</u>	1.81	<u>2.24</u>	<u>1.92</u>	<u>5.13</u>	1.43	<u>2.98</u>
ヘルパンギーナ	<u>0.79</u>	0.72	0.22	0.23	0.22	0.11	<u>0.74</u>
突発性発しん	<u>0.29</u>	0.25	0.25	0.15	<u>0.43</u>	0.25	0.21



3. 全数把握疾患（滋賀県、今週診断例）

類型	疾病名	滋賀県			保健所別								
		2週前	1週前	今週	例年より多い (iii)	例年より非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	7	1	2				1	1				
三類	腸管出血性大腸菌感染症	4	2	2	○		1	1					
五類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1	1	1	○						1		
五類	梅毒	2	2	1	○	○				1			

i. 定点把握疾患：人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点（医療機関）で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ii. 警：警報発令、注：注意報発令

iii. 今週の値が過去5年の同時期（全数把握疾患は同時期の累積報告数）の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記（定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用）

iv. 「警：警報開始基準を超過」、「注：注意報基準を超過」、「多：今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑：前週比増加」（「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記）

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和4年第32週（8/8～8/14）【詳細版】

令和4(2022)年8月19日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

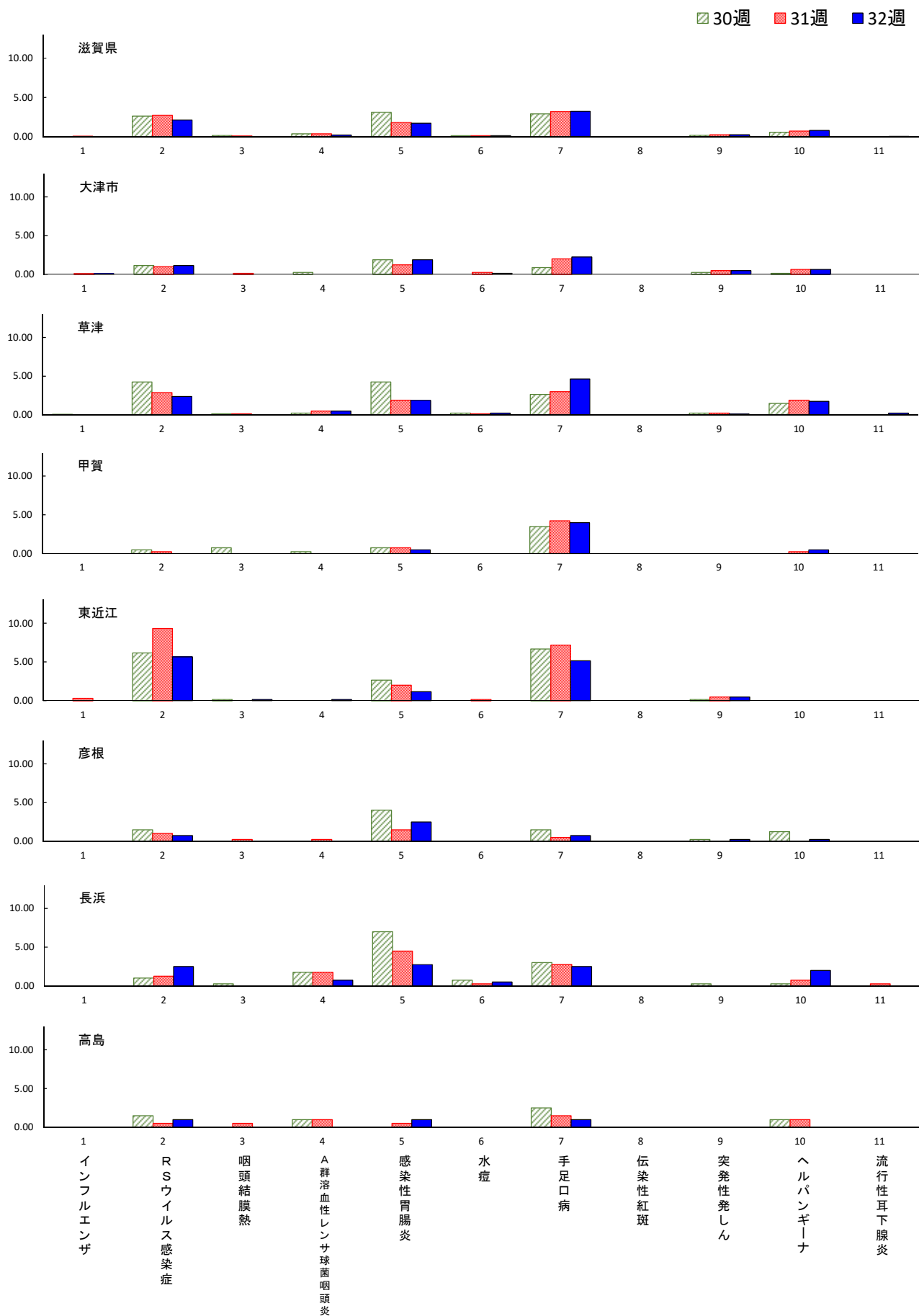
- 腸管出血性大腸菌感染症は、8月10日に令和4年度3回目の「腸管出血性大腸菌感染症多発警報」が発令されました。調理前の手洗いとともに、食品の取り扱いにはご注意ください。
- 手足口病は、「例年より多く」報告されており、特に東近江保健所管内では3週連続で警報基準を超過しています。
- RSウイルスは、1週前より報告数の減少が見られますが、「例年より非常に多く」報告されています。秋から冬に流行するとされていましたが、昨年と同様に、夏にかけて流行が見られています。
- 梅毒は、「例年より非常に多く」報告され、過去最多ペースで増加しています。約8割が20～40歳代で、男性が多い傾向にあります。主に性的な接触により感染する感染症です。予防にはコンドームが有用ですが、完全に予防できない可能性があります。皮膚や粘膜の異常など気になる症状があった場合は、性的な接触を控え、早めに医療機関を受診してください。

2. 定点把握疾患（五類感染症）の定点当たり報告数（全国は前週）の値^{i, ii, iii, iv}

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県			保健所別 ^(iv)									基準値				
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大 津 市	草 津	甲 賀	東 近 江	彦 根	長 浜	高 島	全国 (前週) (iv)	警報 開始	警報 終息	注意報
インフルエンザ (定点数:60)	インフルエンザ	0.02	0.07	0.02				0.08	0	0	0	0	0	0	0.03	30	10	10
	RSウイルス感染症	2.64	2.72	2.14		○	○	1.13	2.38	0	5.67	0.75	2.50	1.00	2.32	—	—	—
	咽頭結膜熱	0.17	0.11	0.03				0	0	0	0.17	0	0	0	0.13	3	1	—
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	0.39	0.39	0.22				0	0.50	0	0.17	0	0.75	0	0.28	8	4	—
	感染性胃腸炎	3.11	1.81	1.72				1.88	1.88	0.50	1.17	2.50	2.75	1.00	2.38	20	12	—
	水痘	0.14	0.14	0.14				0.13	0.25	0	0	0	0.50	0	0.06	2	1	1
	手足口病	2.92	3.22	3.25		○		2.25	4.63	4.00	5.17	0.75	2.50	1.00	3.32	5	2	—
	伝染性紅斑		0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	2	1	—
	突発性発しん	0.19	0.25	0.25				0.50	0.13	0	0.50	0.25	0	0	0.29	—	—	—
	ヘルパンギーナ	0.58	0.72	0.83				0.63	1.75	0.50	0	0.25	2.00	0	0.79	6	2	—
小児科 (定点数:36)	流行性耳下腺炎	0	0.03	0.06				0	0.25	0	0	0	0	0	0.02	6	2	3
	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1	—
	流行性角結膜炎	0.13	0	0.13				0	1.00	0	0	0	0	0	0.18	8	4	—
	細菌性髄膜炎	0.14	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	無菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	—	—	—
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—
	インフルエンザ (入院例に限る)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	—	—	—
	眼科 (定点数:8)	細菌性髄膜炎	0.14	0	0				0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
無菌性髄膜炎		0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—
マイコプラズマ肺炎		0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	—	—	—
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)		0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—
インフルエンザ (入院例に限る)		0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	—	—	—
流行性耳下腺炎		0	0.03	0.06				0	0.25	0	0	0	0	0	0.02	6	2	3
基幹 (定点数:7)	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1	—
	流行性角結膜炎	0.13	0	0.13				0	1.00	0	0	0	0	0	0.18	8	4	—
	細菌性髄膜炎	0.14	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	無菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	—	—	—
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—

- 定点把握疾患：人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点（医療機関）で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。
- 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令（「警」）します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報（「注」）を発令します。
- 今週の値が過去5年の同時期（全数把握疾患は同時期の累積報告数）の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差（SD）」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記（定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用）
- 赤字斜字**：警報開始基準を超過、**紫字斜字**：注意報基準を超過

3. 定点把握疾患（五類感染症）の保健所別推移（滋賀県、今週と過去2週）



4. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

インフルエンザ定点 (60医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～	
インフルエンザ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大津市保健所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
草津保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲賀保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東近江保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
彦根保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

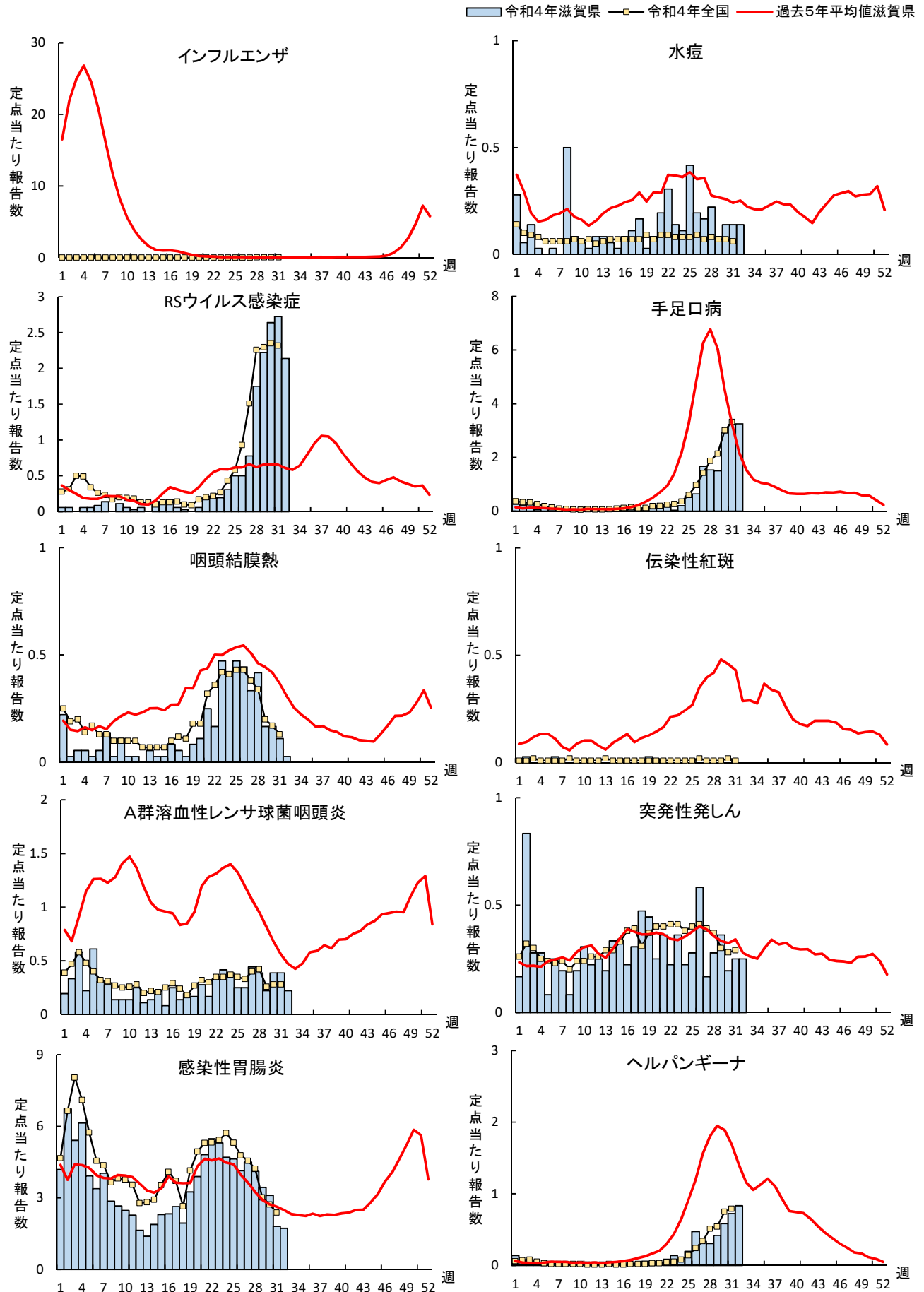
小児科定点 (36医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	77	16	10	21	24	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8	-	-	-	3	-	-	1	-	1	1	-	1	-	1
感染性胃腸炎	62	1	2	12	9	3	6	7	5	1	4	1	7	-	4
水痘	5	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	2	-	-
手足口病	117	1	12	38	35	19	3	4	-	2	-	2	1	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	9	-	3	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	30	-	4	12	7	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

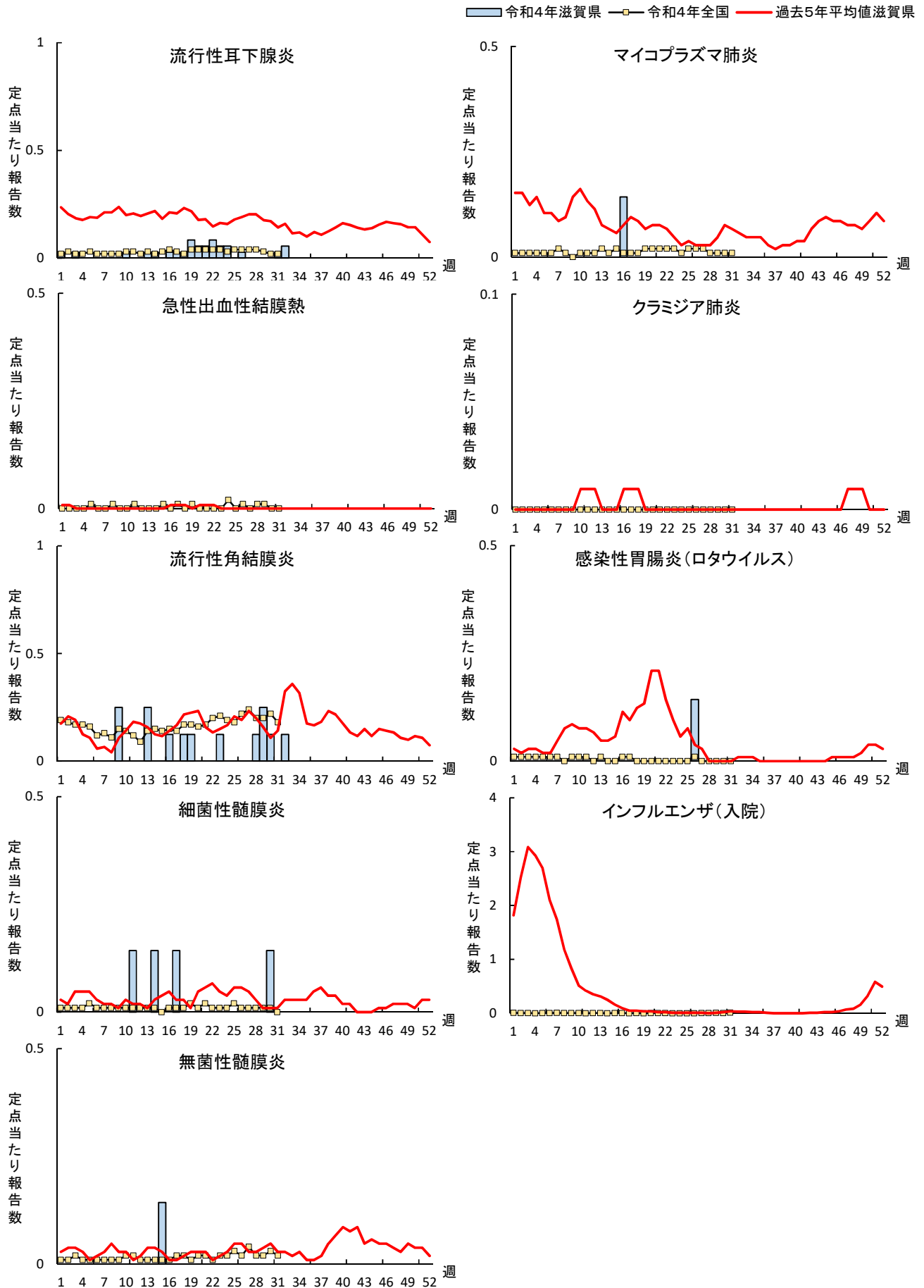
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」: 報告なし

5-1. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



5-2. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



6. 全数把握疾患 詳細情報（今週報告例）^v

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	32	草津	90歳以上	男	肺結核	県内	-
	結核	32	甲賀	80歳代	男	肺結核	-	-
三類	腸管出血性大腸菌感染症	32	大津市	20歳代	男	-	-	O157 VT1VT2
	腸管出血性大腸菌感染症	32	草津	30歳代	男	-	-	O157 VT1VT2
五類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	32	彦根	60歳代	男	-	国外	Klebsiella pneumoniae
	梅毒	32	東近江	40歳代	男	早期顕症梅毒 I 期	-	-
	百日咳	31	東近江	10歳未満	男	-	県内	ワクチン接種歴 無
	百日咳	31	東近江	10歳未満	女	-	県内	ワクチン接種歴 4回

v. 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

今週の注目すべき感染症

■ 梅毒

(1) 梅毒に関する Q&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

(2) 梅毒とは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/syphilis/392-encyclopedia/465-syphilis-info.html>

(3) 梅毒 IASR Vol.41 2020 年1月号(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/syphilis-m-3/syphilis-iasrtpc/9342-479t.html>

■ 新型コロナウイルス感染症

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する滋賀県の状況について(滋賀県)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryuhukushi/yakuzi/309252.html>

(2) 現在の感染拡大防止対策について(滋賀県)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/bousai/sougo/313693.html>

(3) 新型コロナウイルス感染症にかかる滋賀県内の感染動向等(日報・週報)(滋賀県感染症対策課)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryuhukushi/yakuzi/314006.html>

■ サル痘

(1) 複数国で報告されているサル痘について(第2報)(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/monkeypox-m/2596-cepr/11266-monkeypox-ra-712.html>

(2) サル痘について(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html

(3) サル痘とは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/408-monkeypox-intro.html>

(4) サル痘に関する情報提供及び協力依頼について

<https://www.mhlw.go.jp/content/000945942.pdf>

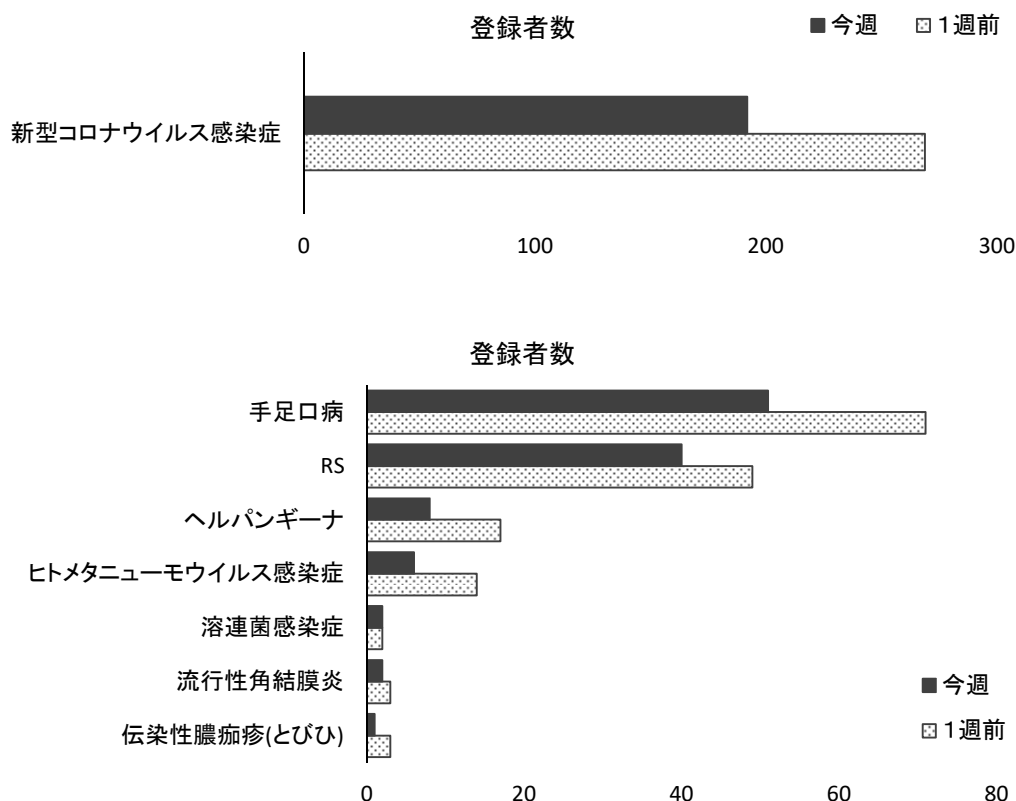
7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別（令和4年）^{vi, vii}

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国	昨年累積報告数	
	例年より多い	例年より非常に多い	累積報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	(前週)	滋賀県	全国
二類 結核			103	41	21	9	12	15	5	0	8659	169	15799
			7.30	11.97	6.04	6.33	5.30	9.71	3.33	0.00	6.90	11.95	12.52
三類 腸管出血性大腸菌感染症	○		28	9	9	4	3	0	2	1	1603	77	3220
			1.98	2.63	2.59	2.81	1.33	0.00	1.33	2.18	1.28	5.45	2.55
四類 レジオネラ症	○		21	4	1	2	2	8	4	0	1138	37	2112
			1.49	1.17	0.29	1.41	0.88	5.18	2.66	0.00	0.91	2.62	1.67
五類 アメーバ赤痢	○		4	2	1	0	0	0	1	0	316	5	529
			0.28	0.58	0.29	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.25	0.35	0.42
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	○		12	3	7	0	1	1	0	0	978	25	2038
			0.85	0.88	2.01	0.00	0.44	0.65	0.00	0.00	0.78	1.77	1.62
クロイツフェルト・ヤコブ病			1	0	1	0	0	0	0	0	101	1	178
			0.07	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.07	0.14
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○		10	3	5	0	1	0	1	0	454	12	646
			0.71	0.88	1.44	0.00	0.44	0.00	0.67	0.00	0.36	0.85	0.51
後天性免疫不全症候群			3	0	3	0	0	0	0	0	525	8	1047
			0.21	0.00	0.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.42	0.57	0.83
侵襲性インフルエンザ菌感染症			1	0	0	0	0	1	0	0	106	1	194
			0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.65	0.00	0.00	0.08	0.07	0.15
侵襲性肺炎球菌感染症			11	3	3	1	1	0	3	0	726	16	1388
			0.78	0.88	0.86	0.70	0.44	0.00	2.00	0.00	0.58	1.13	1.10
水痘(入院例)	○		4	1	1	0	0	1	1	0	196	11	298
			0.28	0.29	0.29	0.00	0.00	0.65	0.67	0.00	0.16	0.78	0.24
梅毒	○	○	38	9	14	1	8	1	5	0	7013	46	7873
			2.69	2.63	4.03	0.70	3.54	0.65	3.33	0.00	5.59	3.25	6.24
播種性クリプトコックス症	○		1	0	0	0	1	0	0	0	88	0	159
			0.07	0.00	0.00	0.00	0.44	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.13
百日咳			8	3	0	0	5	0	0	0	301	8	746
			0.57	0.88	0.00	0.00	2.21	0.00	0.00	0.00	0.24	0.57	0.59

- vi. 今年第1週以降に診断された感染症の累積報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に「今年累積報告数」、下段に「人口10万人当たりの累積報告数」を示しています。
- vii. 今年と過去5年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県）

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム(https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php)へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。



図：学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）において登録数の多い疾患

【全国情報】国立感染症研究所 感染症疫学センターHPに掲載されています。

感染症発生動向調査 週報(IDWR)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報(IASR)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>

インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

【届出対象疾患】厚生労働省 HPに掲載されています。

感染症法に基づく医師の届出のお願い

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP:

<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/>



イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」